

スコアシート		実施設計段階						
配慮項目		環境配慮設計の概要記入欄		評価点	重み係数	評価点	重み係数	全体
Q 建築物の環境品質								3.5
Q1 室内環境					0.40		-	4.0
1 音環境				3.0	0.15	3.3	1.00	3.2
1.1 室内騒音レベル		—		3.0	0.50	3.0	0.50	
1.2 遮音				3.0	0.50	3.6	0.50	
1 開口部遮音性能		住戸のサッシはすべて遮音性能T-2を確保		3.0	1.00	5.0	0.30	
2 界壁遮音性能		—		-	-	3.0	0.30	
3 界床遮音性能(軽量衝撃源)		—		-	-	3.0	0.20	
4 界床遮音性能(重量衝撃源)		—		-	-	3.0	0.20	
1.3 吸音		—		-	-	-	-	
2 温熱環境				2.6	0.35	5.0	1.00	4.6
2.1 室温制御		—		3.0	0.50	5.0	1.00	
1 室温				3.0	0.63	-	-	
2 外皮性能		全住戸の外皮性能、断熱等級5を達成		3.0	0.38	5.0	1.00	
3 ゾーン別制御性		—		-	-	-	-	
2.2 湿度制御		—		1.0	0.20	-	-	
2.3 空調方式		—		3.0	0.30	-	-	
3 光・視環境				2.3	0.25	3.7	1.00	3.5
3.1 昼光利用				1.8	0.30	3.4	0.50	
1 昼光率		代表住戸の昼光率2.090%を確保		1.0	0.60	5.0	0.50	
2 方位別開口		—		-	-	1.0	0.30	
3 昼光利用設備		—		3.0	0.40	3.0	0.20	
3.2 グレア対策				2.0	0.30	4.0	0.50	
1 昼光制御		カーテン、庇にてグレア対策を行なっている		2.0	1.00	4.0	1.00	
3.3 照度		—		3.0	0.15	-	-	
3.4 照明制御		—		3.0	0.25	-	-	
4 空気質環境				4.2	0.25	4.3	1.00	4.3
4.1 発生源対策				5.0	0.60	5.0	0.63	
1 化学汚染物質		ホルムアルデヒド対策等級3を確保		5.0	1.00	5.0	1.00	
4.2 換気				3.0	0.40	3.3	0.38	
1 換気量		—		3.0	0.50	3.0	0.33	
2 自然換気性能		1/8以上の開閉可能な窓を計画		-	-	4.0	0.33	
3 取り入れ外気への配慮		—		3.0	0.50	3.0	0.33	
4.3 運用管理				-	-	-	-	
1 CO ₂ の監視		—		-	-	-	-	
2 喫煙の制御		—		-	-	-	-	
Q2 サービス性能				—	0.30	-	-	3.4
1 機能性				3.0	0.40	4.2	1.00	4.0
1.1 機能性・使いやすさ				3.0	0.40	5.0	0.60	
1 広さ・収納性		—		-	-	-	-	
2 高度情報通信設備対応		原則キガビットイーサネット(1000BASE-T)の規格を満足している		-	-	5.0	1.00	
3 バリアフリー計画		—		3.0	1.00	-	-	
1.2 心理性・快適性				3.0	0.30	3.0	0.40	
1 広さ感・景観		—		-	-	3.0	0.50	
2 リフレッシュスペース		—		-	-	-	-	
3 内装計画		—		3.0	1.00	3.0	0.50	
1.3 維持管理				3.0	0.30	-	-	
1 維持管理に配慮した設計		—		3.0	0.50	-	-	
2 維持管理用機能の確保		—		3.0	0.50	-	-	
2 耐用性・信頼性				2.9	0.30	-	-	2.9
2.1 耐震・免震・制震・制振				3.0	0.50	-	-	
1 耐震性(建物のこわれにくさ)		—		3.0	0.80	-	-	
2 免震・制震・制振性能		—		3.0	0.20	-	-	
2.2 部品・部材の耐用年数				3.1	0.30	-	-	
1 躯体材料の耐用年数		劣化対策等級3を確保		5.0	0.20	-	-	
2 外壁仕上げ材の補修必要間隔		—		2.0	0.20	-	-	
3 主要内装仕上げ材の更新必要間隔		更新必要間隔の長い仕上げ材(クロス材)を使用		4.0	0.10	-	-	
4 空調換気ダクトの更新必要間隔		—		3.0	0.10	-	-	
5 空調・給排水配管の更新必要間隔		—		3.0	0.20	-	-	
6 主要設備機器の更新必要間隔		—		2.0	0.20	-	-	
2.4 信頼性				2.8	0.20	-	-	
1 空調・換気設備		—		3.0	0.20	-	-	
2 給排水・衛生設備		—		3.0	0.20	-	-	
3 電気設備		—		3.0	0.20	-	-	
4 機械・配管支持方法		—		3.0	0.20	-	-	
5 通信・情報設備		—		2.0	0.20	-	-	

3	対応性・更新性			3.0	0.30	3.2	1.00	3.1
	3.1 空間のゆとり			-	-	3.4	0.50	
	1	階高のゆとり	-	-	-	3.0	0.60	
	2	空間の形状・自由さ	代表住戸の壁長さ比率0.239にて計画	-	-	4.0	0.40	
	3.2 荷重のゆとり			-	-	3.0	0.50	
	3.3 設備の更新性			3.0	1.00	-	-	
	1	空調配管の更新性	-	3.0	0.20	-	-	
	2	給排水管の更新性	-	3.0	0.20	-	-	
	3	電気配線の更新性	-	3.0	0.10	-	-	
	4	通信配線の更新性	-	3.0	0.10	-	-	
	5	設備機器の更新性	-	3.0	0.20	-	-	
	6	バックアップスペースの確保	-	3.0	0.20	-	-	
	Q3 室外環境(敷地内)			-	0.30	-	-	3.0
	1 生物環境の保全と創出		-	3.0	0.30	-	-	3.0
	2 まちなみ・景観への配慮		-	3.0	0.40	-	-	3.0
	3 地域性・アメニティへの配慮			3.0	0.30	-	-	3.0
	3.1	地域性への配慮、快適性の向上	-	3.0	0.50	-	-	
	3.2	敷地内温熱環境の向上	-	3.0	0.50	-	-	
LR 建築物の環境負荷低減性				-	-	-	-	3.3
LR1 エネルギー				-	0.40	-	-	3.7
1	建物外皮の熱負荷抑制		全住戸断熱等級5を達成	4.0	0.20	-	-	4.0
2	自然エネルギー利用		-	3.0	0.10	-	-	3.0
3	設備システムの高効率化		住棟一次エネ削減率23%(再エネ含む)達成	4.1	0.50	-	-	4.1
	集合住宅以外の評価			-	-	-	-	
	集合住宅の評価			4.1	1.00	-	-	
4	効率的運用			3.0	0.20	-	-	3.0
	集合住宅以外の評価			-	-	-	-	
	4.1	モニタリング	-	-	-	-	-	
	4.2	運用管理体制	-	-	-	-	-	
	集合住宅の評価			3.0	1.00	-	-	
	4.1	モニタリング	-	3.0	0.50	-	-	
	4.2	運用管理体制	-	3.0	0.50	-	-	
LR2 資源・マテリアル				-	0.30	-	-	2.9
1	水資源保護			3.4	0.20	-	-	3.4
	1.1	節水	節水型便器を採用している	4.0	0.40	-	-	
	1.2	雨水利用・雑排水等の利用		3.0	0.60	-	-	
	1	雨水利用システム導入の有無	-	3.0	1.00	-	-	
	2	雑排水等利用システム導入の有無	-	-	-	-	-	
2	非再生性資源の使用量削減			2.7	0.60	-	-	2.7
	2.1	材料使用量の削減	-	2.0	0.10	-	-	
	2.2	既存建築躯体等の継続使用	-	3.0	0.20	-	-	
	2.3	躯体材料におけるリサイクル材の使用	-	3.0	0.20	-	-	
	2.4	躯体材料以外におけるリサイクル材の使用	-	1.0	0.20	-	-	
	2.5	持続可能な森林から産出された木材	-	3.0	0.10	-	-	
	2.6	部材の再利用可能性向上への取組み	躯体+軽鉄下地+仕上げ材で分別が容易になっている	4.0	0.20	-	-	
3	汚染物質含有材料の使用回避			3.0	0.20	-	-	3.0
	3.1	有害物質を含まない材料の使用	-	3.0	0.30	-	-	
	3.2	フロン・ハロンの回避		3.0	0.70	-	-	
	1	消火剤	-	-	-	-	-	
	2	発泡剤(断熱材等)	-	3.0	0.50	-	-	
	3	冷媒	-	3.0	0.50	-	-	
LR3 敷地外環境				-	0.30	-	-	3.3
1	地球温暖化への配慮		ライフサイクルCO2排出率が、一般的な建物以下	4.0	0.33	-	-	4.0
2	地域環境への配慮			3.0	0.33	-	-	3.0
	2.1	大気汚染防止	-	3.0	0.25	-	-	
	2.2	温熱環境悪化の改善	-	3.0	0.50	-	-	
	2.3	地域インフラへの負荷抑制		3.0	0.25	-	-	
	1	雨水排水負荷低減	-	3.0	0.25	-	-	
	2	汚水処理負荷抑制	-	3.0	0.25	-	-	
	3	交通負荷抑制	-	3.0	0.25	-	-	
	4	廃棄物処理負荷抑制	-	3.0	0.25	-	-	
3	周辺環境への配慮			3.0	0.33	-	-	3.0
	3.1	騒音・振動・悪臭の防止		3.0	0.40	-	-	
	1	騒音	-	3.0	1.00	-	-	
	2	振動	-	-	-	-	-	
	3	悪臭	-	-	-	-	-	
	3.2	風害、砂塵、日照障害の抑制		3.0	0.40	-	-	
	1	風害の抑制	-	3.0	0.70	-	-	
	2	砂塵の抑制	-	1.0	-	-	-	
	3	日照障害の抑制	-	3.0	0.30	-	-	
	3.3	光害の抑制		3.0	0.20	-	-	
	1	屋外照明及び屋内照明のうち外に漏れる光への対策	-	3.0	0.70	-	-	
	2	昼光の建物外壁による反射光(グレア)への対策	-	3.0	0.30	-	-	

評価する取組み	合計	合計2	No.1	No.2	No.3	No.4	No.5	No.6	No.7	No.8	No.9	No.10	No.11	No.12	No.13
Q2 サービス性能															
1.2.3 内装計画	2.0	2.0	-	○	-	○	-	○	-	○					
1.3.1 維持管理に配慮した設計	4.0		○	-	○	-	○	-	-	○	-	-	-	-	-
1.3.2 維持管理用機能の確保	6.0		-	○	-		○	○	○	○	-	-	-	○	-
2.4.1 空調・換気設備	-		○	-	-	-	-								
2.4.2 給排水・衛生設備	2.0	2.0	○	-	○	-	-	-	-						
2.4.3 電気設備	1.0	-	-	-	-	○	-	-							
2.4.5 通信・情報設備	1.0		-	-	○	-	-	-							
Q3 室外環境(敷地内)															
1 生物資源の保全と創出	7.0		-	-	2.0	-	1.0	1.0	1.0	-	1.0	1.0	-		
2 まちなみ・景観への配慮	3.0		2.0	1.0	-	-	-	-							
3.1 地域性への配慮、快適性の向上	2.0		-	-	-	-	1.0	1.0	-	-					
3.2 敷地内温熱環境の向上	7.0		-	1.0	-	2.0	-	-	-	2.0	2.0				
LR1 エネルギー															
2 自然エネルギー利用	-		-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
LR2 資源・マテリアル															
1.2.2 雑排水等再利用システム導入の有無			-	-	-	-	-	-	-	-					
2.1 材料使用量の削減	-		-	-	-										
2.3 躯体材料におけるリサイクル材の使用			-	-	-	-									
2.6 部材の再利用可能性向上への取組み	1.0		○	-	-	-									
3.1 有害物質を含まない材料の使用	-														
LR3 敷地外環境															
2.2 温熱環境悪化の改善	7.0		1.0	-	-	-	2.0	-	-	1.0	3.0	-			
2.3.3 交通負荷抑制	2.0		1.0	-	1.0	-	-	-							
2.3.4 廃棄物処理負荷抑制	3.0		-	1.0	1.0	-		1.0	-						
3.2.2 砂塵の抑制	-		-	-											
3.3.1 屋外照明及び屋内照明のうち外に漏れる光への対策	2.0		-	2.0											

主な指標

Q1 室内環境

2.1.3 外皮性能

窓システムSC		窓の日射熱取得率(η)			
U値(W/m2K)	窓システム	屋根	外壁	床	
住戸部分	窓システムU値	外皮UA値 0.5	η AC 2.0	η AH	
星光率	2.1%				
自然換気有効開口面積率		13.4%			

3.1.1 屋光率

4.2.2 自然換気性能

Q2 サービス性能

1.1.1 広さ・収納性

1.1.2 高度情報通信設備対応

1.2.1 広さ感・景観

1.2.2 リフレッシュスペース

2.2.1 躯体材料の耐用年数

2.2.2 外壁仕上げ材の補修必要間隔

2.2.3 主要内装仕上げ材の更新必要間隔

2.2.6 主要設備機器の更新必要間隔

3.1.1 階高のゆとり

3.1.2 空間の形状・自由さ

3.2 荷重のゆとり

執務スペース	.0㎡ /人	病床	.0㎡ /床	シングル	.0㎡ ツイン	.0㎡
コンセント容量	-	VA/㎡				
天井高	-	m				
リフレッシュスペース	0.0%	レストスペース	0.0%			
想定耐用年数	75~90 年					
想定必要間隔	15 年					
想定必要間隔	20 年					
想定必要間隔	10 年					
階高	2.82m	m				
壁長さ比率	23.0%					
床荷重	-	N/m2				

Q3 室外環境(敷地内)

1 生物資源の保全と創出

3.2 敷地内温熱環境の向上

外構緑化指数	38%	建物緑化指数	0%				
空地率	50%	水平投影面積率	8%	地表面対策面積率	23%	舗装面積率	14%

LR1 エネルギー

1 建物外皮の熱負荷抑制

2 自然エネルギー利用

BPI/BPI _m		- 断熱等性能等級		等級5 相当			
自然エネルギー直接利用量	0 MJ/年㎡	採光を満たす教室数		0.0%	採光を満たす住戸数	100.0%	
		通風を満たす教室数		0.0%	通風を満たす住戸数	100.0%	
		太陽光	6.6kW	太陽熱等	.0kW	蓄電池	.0kW
BEI/BEI _m	再エネ有	-	無	-	オフサイト再エネ有	-	-
一次エネルギー削減率	再エネ有	23%	無	21%		-	

LR2 資源・マテリアル

1.2.1 雨水利用システム導入の有無

2.4 躯体材料以外におけるリサイクル材の使用

2.5 持続可能な森林から産出された木材

3.2.1 消火剤

3.2.2 発泡剤(断熱材等)

3.2.3 冷媒

雨水利用率	0.0%				
特定調達品目	-	エコマーク商品	-	自治体指定の特定品目等	-
使用比率	0.0%				
オゾン層破壊係数(ODP)		地球温暖化係数(GWP)			
オゾン層破壊係数(ODP)		地球温暖化係数(GWP)			
オゾン層破壊係数(ODP)		地球温暖化係数(GWP)			

LR3 敷地外環境

2.2 温熱環境悪化の改善

見付面積比	140% 隣棟間隔指標Rw 0.24								
地表面対策面積率	36.0%		屋根面対策面積率		#DIV/0!	外壁面対策面積率		#DIV/0!	
見付面積Sb	587㎡	卓越風向と直交する最大敷地幅Ws		43.774 m	基準高さHb		9.553 m		
緑地	195㎡	水面	㎡	保水性対策面	㎡	高反射対策面	㎡	再帰性反射対策面	㎡